

教育改善 PDCA 進捗シート-11

課題名称	学科が主体的に実施する FD 活動
起案者	伊藤、鶴崎、松本

※原則として起案者が本シートを継続的に記録，学科ホームページに UP する。

課題の概要（改善すべきとする背景と目的）	
<p>学科として主体的に実施する FD 活動を，より明確化・効率化するべく実施内容を検討し，更なる教育活動の向上をめざす。</p>	

Phase	議論・措置の内容	議論の経過（年月 委員会 等）	次回予定
P	<p>■学科が主体的に取り組む FD 活動について、より明確化・効率化するべく実施内容を検討し、毎回の教室会議において「FD 活動報告会」を実施することとした。実施内容は各教員の FD 活動について教室会議の場で報告し、情報共有することで FD 活動を推し進めることとした。</p>	2013 年 3 月（教室会議）	2013 年 4 月
	<p>■先月教室会議の審議結果に則り、教室会議において「FD 活動報告会」を実施することとした。</p>	2013 年 4 月（教室会議）	2013 年 10 月
	<p>■前年度に引き続き、教室会議の場で FD 活動について活動報告および意見交換を実施することとした。</p>	2014 年 4 月（教室会議）	2014 年 10 月
D	<p>■教室会議の場において FD 活動報告会を実施し、各教員の FD 活動について意見交換をおこなった。</p>	2013 年 5 月～9 月（教室会議）	2013 年 10 月
	<p>■教室会議の場において FD 活動報告会を</p>	2014 年 5 月～9 月（教室会議）	2014 年 10 月

	実施し、各教員の FD 活動について意見交換をおこなった。		
C	<p>■教室会議の場での FD 活動報告会の実施状況を検討した。効果的な実施方法について、引き続き検討すること、更に引き続き現在の取り組みを1年間実施し、そのうえで改めて検討することとした。</p>	2013年10月（教室会議）	2014年4月
	<p>■引き続き、教室会議での FD 活動報告会を継続することとした。</p>	2014年10月（教室会議）	2015年4月
	<p>■中間審査の結果、名称や取り組みの位置づけについて整理することが望ましい旨、指摘を受けた。他の検討項目と連動した教育改善策の検討を実施することとし、個別の WG としては一旦完了とすることとした。</p>	2015年11月（教室会議）	【WG完了】
A	<p>■FD 活動報告会の実施は一定の情報共有とはなっており、次年度も引き続き実施することとした。</p>	2013年11月～2014年2月（教室会議）	2014年10月
	<p>■FD 活動報告会の実施は一定の効果をあげていると考えられるが、「より成果を明確化するため、事前に担当教員を決め、準備された内容を教室会議の場に持ち寄って報告・意見交換した方がより明確化・効率化できるのではないか」との意見が出され、次回教室会議の場で検討することとした。</p>	2015年3月（教室会議）	2014年4月
	<p>■前回教室会議で提案された事前に取り決めた担当教員による FD 活動の報告および意見交換を実施することとした。端緒として片田教授によるFD活動の報告がなされ、意見交換を行った。</p>	2015年4月（教室会議）	2015年10月